



曙橋で全員集合、笑顔の記念撮影

今回のコース設定は宝角リーダーからの提案で東山一万歩コースは余りにもメジャーコースなので「なごや東山の森ガイドブック/(財)東山公園協会」を参考に「謎が謎を呼ぶミステリアスコース」で杣道風のマイナーコースになりました。

定例会は久しぶりの梅雨の晴れ間に恵まれ、気分爽快晴れやかな気分になりました。昼頃からは青空も広がり白く輝く入道雲が見られ、最高気温は32℃まで上昇し夏日になりました。

星が丘駅に9:30に集合し、男性14名、女性6名、合計20名の参加がありました。何時もの通り、リーダーの指示により、各人の手にエタノールが噴霧され、全員が手の消毒を行いました。

各々が三密を回避し、列は長くなるが、ソーシャルディスタンスを守り全員自覚してウォーキングをしました。

コロナ禍で自由に外出できない状態は辛いものがあり、フレイルの負のスパイラルから解放されて、愚痴やら日頃の悩みを解消し、マスクに隠れた笑顔も見えました。

植物園の外周の一万歩コースを右周りで巡ります。富士見台では休憩をとり、猿投山をはじめ、奥三河の山岳稜線の眺望を堪能しました。希望者はコースから外れて軽い藪漕ぎで東山四等三角点P102.2を確認し、その後、全員が曙橋に直行しました。

金明水を踏査対象にするかどうか皆さんの意見を聞き、多くの参加者が前向きに是非この際観たいとの意見に、リーダーも押され見学対象になりました。

事前調査ではあまりにもショボい湧水と飲料不向きであることが表示されている金明水は皆さんにガッカリ感を与え、今回のウォーキングコースの致命傷になるのではないかと杞憂していました。脚元が悪いにも拘わらず、灌木に囲まれた暗い湿っぽい水源を小人数で順番に全員確認しました。酷評でしたが、皆さん納得されたようです。



チョットガッカリ感の金明水

次の目的地は赤土の滑り易い薄い山道を藪漕ぎをしながら、今年の2月末に起きた山火事の現場検証です。

未だ間がないので灌木の葉は枯れているが、高木は青葉が茂っており火災時間が短く樹皮の表面は焼けても内部には損傷が無ったと思われ、余り大きな火災被害にならなかったのが幸いでした。

新聞情報ではハイカーの煙草の不始末が原因であった様です。



山火事現場の状況調査

次に植田山山頂の基本図根点に寄りました。小さな三角点には皆さん感心が無く、黙って通りすぎました。

自称三角点マニアの小生は少しガッカリ感がありましたが、気を取り直して次の謎の穴を案内しました。

何が原因でこの様な洞窟と言うか、穴が出現したのか皆さんにお聞きしました。

「これは穴窯跡だが、壁面に焼けただけ粘土面が無いのが不思議」「戦時中の防空壕跡」「巨木移植の根回し跡」などの意見がありました。

いろいろな答えが出ましたが、決定的な意見は残念ながらありませんでした。



謎の穴を前にして話し合い

この後、両側が羊歯群落の狭い踏み固められた山道を下り左にゴルフ練習場を見て市道三叉路に至りました。

市道交差点を渡り、昔の苗場跡の湿地を横切り最後の目的地の謎の石像に向かいました。ネット検索のウィキペディアによれば、謎の石像は動植物園が開設される昭和12年以前から存在しており、その史跡の云われは現在では誰も知る人は無く謎の石像とされています。

石像の向きは小手をかざして御嶽を眺望していると記載されているが、コンパスで確認したところ六所山か、三河本宮山を眺めているようでした。



謎の石像の前で皆さん興味深々



等身大よりやや小振りの謎の石像

左手には斧を持ち杵人の棟梁の風格です。マントを羽織った服装を良く見ると近代的であり、顔立ちは彫が深くあごひげを蓄え、威厳にみちており蝦夷(エミシ)かアイヌ古者を想わせます。

台座を含めると優に3.0m程あり、石像設置は個人の趣味では容易ではありません。宗教法人かも知れませんが、その記載も無くやはり謎の石像でした。

以上で全てのミッションを終えたが、謎の穴と石像は的確な結論が見いだせず、消化不良のミステリーウォーキングになりました。11:45に動物園上池門と植物園門の市道三叉路で全員集合し、自由解散になりました。

我々5人の有志は東山公園駅近くのガストにより、ハンバーグステーキランチとドリンクバーを全員同じオーダーし、大盛りを美味しくいただき、ホットコーヒーを3杯美味しくいただき、久しぶりに大食漢になりました。

ところで定例会は予定通りのポイントを巡り、皆さんそれなりにご満足いただけました事と想います。

東山公園の一万歩コースは自然環境が良く整備され歩き易い遊歩道ですが、今回のマイナーコースはあまりハイカーが入らない山道で夏草が伸び軽い藪漕ぎ状態を心配しましたが、天気にも恵まれ安全安心な定例会で無事に終わりました。

なお、参考までに本願寺の我が家までの歩数は14,500歩、歩行距離は10.5Km程で歩行時間は3:50でした。

【撮影：30期 北川健一・文：31期 宮田岩男】